

問1	問2-1	問2-2	問3-1	問3-2	問4	問5-1	問5-2	問6
実習によって、興味や関心の深まりがあったと思いますか。(5段階)	実習後、文献やweb等で調べることがありましたか。	どんなことを調べたか。	担当の方に質問をしましたか。(回数)	質問内容は。	実習した分野の知識が充実したと感じますか。(5段階)	実習班で役割を果たせたと思いますか。(5段階)	自分のどのような行動に対してですか。	フォールドワークを伴う研究を知るという狙いが達成できたと思いますか。(5段階)
回答者数:40	回答者数:40	回答者数:16	回答者数:40	回答者数:27	回答者数:40	回答者数:40	回答者数:32	回答者数:40
最高:5	なかった:24名		最高:10		最高:5	最高:5		最高:5
最低:3	あった:16名		最低:0		最低:1	最低:1		最低:2
平均:4.28			平均:1.82		平均:3.83	平均:3.5		平均:4.28
最頻値:5(18名)			質問者数:27		最頻値:4(22名)	最頻値:4(18名)		最頻値:4(19名)
4	なかった	海の水質やその地点での海環境をいろいろと測定できる今回の実習で使った機械の使い方や数値の読み方を調べた。	0	「小棘」とはどういうものか。	4	3	実験器具の洗浄	4
5	あった	クサブグの生息分布	2	・(水質を測る機械を)降ろしていいですか・これってヒラメですか?・胸鳍って軟条しかないですよ。・これって食べれますか・あれって原発ですか。	4	4	後片付けも自分がやることを探してできた。	5
5	あった	魚が死後も動いたこと	0	うねりと波の違いについて・海の透明度が低い理由・取れた魚の名前と特徴について	4	4	網の引き上げの手伝い・緯度経度や気象条件の記録・解剖などに使った器具の洗浄	5
4	なかった	鮫はなぜサメ肌なのか・目の進化について・ブグの毒について	2	解剖した魚の臓器名を尋ねた	4	3	解剖の後片付けやブグの解剖を行い図鑑で内臓調べた。	4
4	あった	自分のスケッチしたアカアマダイについて	0	解剖した魚の部位について	4	2	解剖の後使ったものを洗ったりした。図鑑で刺し網で取った魚を調べた。	4
4	なかった	水質測定の際の用語を調べた。	2	解剖してコモンブグは精巣も卵巣も見当たらないのでどうしてかと尋ねた	5	4	解剖の道具の準備や後片付け	5
5	なかった	側線について、何のための器官なのかを調べた。	2	機器の見方について・魚の種類について	5	2	解剖を手伝ったり、作業をしている人にアドバイスをあげたりした。	5
5	なかった	取れた生き物の生息環境	1	魚類検索図鑑の使い方について 自衛隊基地の場所カサゴとウツカリカサゴの違いについて	3	1	海洋調査で網を下ろした	5
3	なかった	なぜ胆のうの色は緑色なのか	3	口琴について	3	3	記録をする人のサポート・片付け	4
4	なかった	乗り物酔いについて・刺し網について	3	クラダの雌雄 軟条と棘条の見分け スケッチの仕方	3	3	研究の中で様々な意見を出すことができた。	4
4	あった	ヒラメ、カレイの稚魚→制御の途中で目の位置が変わったこと	たくさん	魚の種類について	4	5	魚の解剖を班で協力した・使い終わった後のピンセットや雑巾スチロールなどを洗った。	4
4	なかった	ホタテやバイ貝、ヒメデなどの筋肉のキynch結合組織について	0	魚の内臓について 寄生虫について	4	3	魚の種類を担当の方に聞きながらだが、特定することが出来た。	4
5	なかった	ホルマリン漬けの具体的な作業の仕方	0	自分がスケッチした魚の種類について 黒線について	4	3	魚を入れたシャーレーやハサミなどを洗った。	4
5	なかった	メバルの種類の違い	1	生物の名前・船の装置の風向風速の読み方・魚の種類について	4	4	魚を解剖して、胃の大きさなどを見た。	4
4	なかった	略称Turの意味(濁度)尾鰭の役割	0	背鰭棘と背鰭軟条の違い	5	4	写真を撮って記録する・実験の用意、片付けをする	4
5	なかった	竜宮の使いがどのような魚なのか	5	側線はどこにあるのか・軟条の数え方	5	5	準備では器具を出したり役割分担して片付けもすることができ素早く行動ができたと思う。	5
4	あった		0	どうして水の濁りを測るのか一番濁っている時で何mくらいか	4	4	使用した器具の片付け	4
5	あった		3	採ったエビなどが食べられるかどうか	5	4	水質のデータを書き取った。	5
3	なかった		4	どれが側線か。軟条とは何ですか。	4	3	図鑑を片付けた	3
4	なかった		0	なぜ、標本室は換気していないのか	3	3	船上の作業に積極的に参加した。	4
4	あった		1	なま無目魚には目袋がないのか・正確には方がついでいい。アジと同じ場所に心臓がなかったのでどこにあるのか。→奥の方にあり取りだすことは難しい。	4	4	次何が必要か考えて持ってきた。	5
3	あった		0	軟条骨と棘条骨とは何か 側線について	3	4	次の班ができるだけ使いやすいうようには後片付けができたと思う。	2
4	あった		0	ブグの解剖をして、出てきた臓器の名前・網の引き上げ方・寄生虫の生き方・顕微鏡の上手な見方など。	4	5	テーブルを拭いた。籠の中の水を捨てた。	5
5	あった		1	船に設置してあった機械について・取れた生物について・ホルマリン漬けにしてあった生物について・観察した魚について	5	4	道具の準備や後片付けなど進んでやりました。	5
3	なかった		数	船の上で器具の用途をいくつか質問した・解剖して出てきた魚の腸の内容物について・船で捕らえた魚についていくつも質問した。	3	4	道具を洗って片付けた。班員と協力して周りの方々の手助けを受けながら相談して魚の名称を突き止めた。	4
5	なかった		4	船の操縦室で船長の方に船内の装置の役割を質問した。船の進む方向(Nを零度として考える)をその装置に入力すると自動的にその方向に進むというものだった。	4	4	外海の透明度を調べた。魚の各種を図鑑で見つけた。	4
5	なかった		3	湾内海洋観測で取れた魚を食べれるか。魚の解剖で出した臓器の説明。	4	4	引き網、魚の移動、記録。	4
5	あった		4		4	4	ピンセットや解剖ハサミをきちんと洗った上で返すなどのこと	4
3	あった		0		3	3	船の上での数値の記録 魚の解剖と後片付け	4
5	なかった		2		4	3	プレートの片付け 魚の種特定	4
5	あった		10		1	2	水の透明度を測る作業を手伝った。	4
4	なかった		1		4	3	分からなくなったら質問をして新たな知識を得た。	5
4	なかった		2		4	3		5
3	なかった		1		2	2		2
3	あった		1		3	3		3
5	なかった		1		4	4		5
5	なかった		0		5	4		5
5	あった		8		3	4		5
5	なかった		2		4	4		5
4	あった		0		4	5		5